

平成 29 年度学術集会プログラム委員会 議事録

2017 年 7 月 13 日 (木) 7:30 - 8:20

TKP 新宿カンファレンスセンター ミーティングルーム 4B

出席：徳橋泰明 (担当理事) 中村博亮 (委員長) 島田洋一、波呂浩孝、大川淳、紺野慎一
山崎正志、長谷川智彦 (松山 幸弘 代) 寺井秀富 (第 47 回学術集会事務局)

欠席：川上守、松山幸弘

報告事項

1) 第 46 回学術集会の報告 (島田洋一会長)

参加者総数 (2312 名) 各会場・講演の入場者数などに関して報告があった。収支報告については現在精査中であり、監査後に次回の委員会で提出予定である。

2) 第 47 回学術集会準備状況報告 (中村博亮)

特別講演演者、文化講演演者が決定した。6 名の海外招聘演者が決定し、連絡済みである。今後の予定として演題登録期間、NASS へのブース出展予定について報告があった。イブニングセミナーの参加者が少ないため、アフタヌーンセミナーとして午後の早い時間に移動させるのはどうかという提案に対し、共催会社の規定があるので確認するように (島田) 日整会基礎学会などではそのような工夫も始まっている (大川) 指導医イブニングセミナーは他の共済セミナーとは別の時間帯にした方が良い。(島田) などの意見が出された。

3) 第 48 回学術集会準備状況報告

会長推薦の海外招聘者、特別講演演者に関して報告がなされた。

4) 審議事項：第 49 回学術集会について

開催地は名古屋を予定している。コングレとオフィス・テイクワンに見積依頼を行い、実績などを加味してコングレが選出された。理事会で報告し、予算案を事務局に送付することとなった。

5) その他

国際委員の推薦者決定が遅く支障をきたすので、プログラム委員会から公式に早期決定と選考プロセスの情報共有を行うべきとの意見が出された。(島田)

第 46 回でも組まれていたが、海外からの参加者にも有益であるように 1 日中英語のセッションを設けるようにして欲しい。(波呂 国際委員から)

国際委員からの推薦者については、主催会長から依頼を行い、日程・待遇などで調整がつかない場合には会長に一任とすることが確認された。

次回本委員会の開催は、日整会基礎の時は行わず、原則的に専門医試験の晩 (2018 年 1 月 18 日) に行く。急な案件が出た場合には日本腰痛学会の時にすることとなった。

以上